Press Release

2018 年 9 月 4 日
株式会社オールアバウト

＜経済産業省補助事業「産地ブランド化推進事業」＞

地域産品の産地ブランド化の推進を支援する「Local Creators' Market」

2018 年採択産地（福島・群馬・愛知・和歌山・岡山・島根）への年間パスポート付与！

ものづくり・地域の広報業務を担う『SANCHI コミュニケーター』を募集！

～日本の地域産品を中心に国内外を繋ぐグローバル情報サイトを開設～

外国人目線で日本の魅力を海外向けに発信する情報サイト「All About Japan」を運営する株式会社オールアバウト（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：江幡 哲也）は、経済産業省補助事業を受け、海外マーケットに精通する有識者を起用し、地域産品の産地ブランド化の推進、海外展開に向けた活動を支援するプロジェクト「Local Creators' Market（ローカル・クリエーターズ・マーケット）」を 2017 年より実施しています。

2018 年度は、支援を行う産地として、福島県奥会津（三島編み組細工）、群馬県（シルク産業）、愛知県瀬戸市（瀬戸焼）、和歌山県海南市（紀州漆器）、岡山県倉敷市（帆布）、島根県浜田市（石州和紙）の合計 6 地域を多数の応募地域から採択いたしました。この度、プロジェクトの第 1 弾として、地域産品とその産地の魅力・特性をより多くの人に知っていただく事を目的に、既存の特設サイトを大幅に刷新。日本の地域産品に特化したグローバル情報サイトとして 2018 年 9 月 4 日にリニューアルオープンいたしました。

また、本日より各地域のものづくりに関する国内外への情報発信や、視察団やバイヤー訪問時の通訳など広報業務をサポートする「SANCHI コミュニケーター」の募集を開始いたします。

「Local Creators' Market」URL: https://local-creators-market.com/

■日本のものづくりを世界に発信するコミュニケーター募集

「Local Creators' Market 2018」では、産地でものづくりに情熱を傾ける作り手と一緒に、世界に向けた情報発信や、現地の広報・通訳業務をサポートしてくれるコミュニケーターを、以下ポジションにおいて全 6 地域で募集いたします。就任された方へは、その地域への交通費を支援する年間パスポートの発行と、宿泊先の提供を行い、その土地の自然や歴史、食など、地域と深く関わりながら、地域産品とその技術、根底にある日本の生活文化に触れ、業務を推進いただきます。

Local Creators' Market　SANCHI コミュニケーター 募集概要		
募集ポジション	**シニア・コミュニケーター**	**コミュニケーター**
業務内容	**地域の海外向け広報全般業務** ・英語によるライティング （当ウェブサイトや SNS、産地のウェブサイトなどを利用した定期的な情報発信） ・海外からの視察やバイヤーの訪問時の通訳 ・プロダクツに関する海外からの問合せ対応とレポーティング ・海外メディアに対するパブリシティの積極的な誘導	**広報支援業務** ・英語によるライティング （当ウェブサイトや SNS、産地のウェブサイトなどを利用した定期的な情報発信） ・海外からの視察やバイヤーの訪問時の通訳
実施期間	2018 年 9 月～2019 年 3 月	
募集地域	福島県奥会津（三島編み組細工）、群馬県（シルク産業）、愛知県瀬戸市（瀬戸焼）、和歌山県海南市（紀州漆器）、岡山県倉敷市（帆布）、島根県浜田市（石州和紙）	
必要なスキル	・英語話者（ネイティブレベル）である ※産地のターゲットによっては別言語の可能性有 ・日本語能力試験 N1 またはそれに準ずる言語能力を有する ・募集の産地またはその近郊にお住まいで、産地にアクセスしやすい方 ・これまでに海外への情報発信（オンライン・オフライン問わず）のライティングの実績を持つ ※販路の開拓やモノを売ることについての知識は不要です。	
諸手当	・国内で有効な年間パスポート（交通費）の付与 ・宿泊先の提供 ・産地観光資源の体験	
応募方法	こちらのフォームよりエントリーください https://local-creators-market.com/recruit	
選考プロセス	書類選考の後、面接審査を行います。 書類選考の結果は、通過者のみ記載のメールアドレスへご連絡いたします。	

■2018 年採択地について：https://local-creators-market.com/sanchi

■リニューアルポイント概要

1.英語に対応したグローバル情報サイトへ

2. 産地を紹介する「Featured」の新設

事業で採択した産地ごとに、その土地の地域産品や、自然、歴史、食などあらゆる魅力を紹介する特集ページを新設いたしました。今回募集する「SANCHI コミュニケーター」が執筆する記事も、ここで紹介していきます。

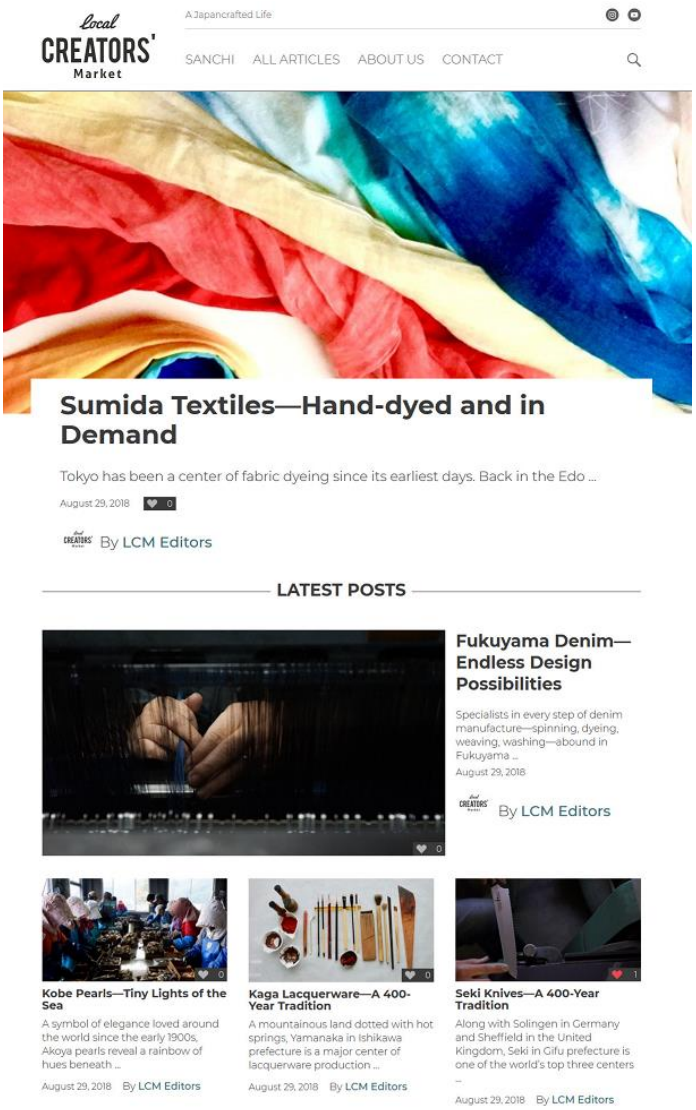
3. コンテンツ執筆者を紹介する「Author's Profile」の新設

地域産品を紹介する執筆者でもあるコミュニケーターのプロフィールを紹介する「Author's Profile」を新設いたしました。執筆した記事の一覧だけでなく、執筆者の出身地や趣味、産地との関連性を紹介しています。

4. 越境 EC との連携

日本総合情報サイト「All About Japan」と提携する 2 つの越境 EC サイト「NIHON ICHIBAN」と「東家」(アプリ）をはじめ、地域産品を取り扱う EC サイトを紹介しています。

■サイト TOP



■Local Creators' Marketプロジェクトとは

All About Japan が日本政府との多岐にわたるプロジェクトで培ったネットワークを活用し、日本に造詣が深く、海外での販路開拓や PR の知見を持つプロデューサーなど、国内外の有識者で構成するプロジェクトチームを産地の特性・志向に合わせて編成。本プロジェクトの総合プロデューサーであり、日本の文化を世界に向けて発信する英文雑誌「家庭画報 国際版（Kateigaho International Edition)」の編集長を務めた三宅 暁氏や、トヨタ自動車レクサスのブランドマネジメント部長として、グローバルブランディング統括の経験を持つ高田敦史氏などの有識者を、自治体や製造業者、その他関係業種ネットワークにより形成された採択産地に招聘し、技術やストーリーなど、ブランドや産地が持つ魅力、海外需要をグローバル視点で発掘。その価値を最大限に活かす、アウトバウンド及びインバウンドの両面を鑑みたブランディング、国内外への情報発信や、販促活動などのプロモーションを支援いたします。

■「All About Japan」について　URL：http://allabout-japan.com/en/

2015年9月に開設した「All About Japan」は、“グローバル視点で日本の魅力を発掘・発信”をビジョンに、観光だけでなくグルメ・文化・技術といったカテゴリで、通な国内情報をはじめ、海外における日本情報までも幅広く取り扱う日本総合情報サイトです。様々なテーマ（例：「秋葉原 “Akihabara”」から「禅“Zen”まで」に合わせ、国内外在住の日本通のブロガーならびにライター約500名によるオリジナル記事を、英語、中国語（簡体字・繁体字)、タイ語、韓国語の計5ヶ国語で紹介しています。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先：
株式会社オールアバウト　広報担当：柏原・大貫
TEL：03-6362-1309　FAX：03-6682-4229
E-mail：　pr@staff.allabout.co.jp

＜参考資料＞

2017 年度「Local Creators’ Market」の取り組み事例

2017 年度の Local Creators’ Market では、計 5 産地を採択し、海外販路の開拓を目的とするコンサル事業を実施いたしました。その中の一つ、鎌倉時代から続く刀・刃物の名産地である岐阜県関市の事例を紹介いたします。

産地：岐阜県関市　産品：刃物・包丁

日本製の包丁の取り扱いが米国やフランスにおいて珍しくなくなってきた昨今、北米市場にターゲットを絞り海外販路開拓を希望する関市は、オリジナルブランド「和 NAGOMI」を立ち上げ、和包丁の魅力訴求を行いました。しかしながら、海外で和包丁を訴求している国内メーカーは多数存在するほか、一部ではダマスカスという縞模様の包丁が和包丁と認識されている実態があり、和包丁の中でも関の刃物のブランド価値の訴求と差別化に課題がありました。

そこで本プロジェクトでは、海外の食事情にもトレンドにも豊富な知識を持つ、在 NY の瀧上がプロデューサーに就任。「和 NAGOMI」の多様なラインナップから、三徳やペティナイフとは異なり、世に大きく知られているメーカーが無く、海外の生活様式に溶け込みやすいパンナイフとケーキナイフへの可能性に着目し、ブランディングの方向性を設計しました。プロモーション戦略の立案においては、著名パティシエシェフとフード・ジャーナリストに対しテストマーケティングを実施。また産地へ招聘し、現地視察を経ての意見交換の機会を創出いたしました。その結果、関の刃物の魅力として、切れ味の良さだけでなく、「切ることの楽しさ」や「持つことの喜び」の訴求が国内外への販促に有効であると見極め、その価値をストーリーブックや動画などで表現しました。また、越境 EC サイト NIHON ICHIBAN（運営：株式会社ちん里う本店、代表取締役社長：小峯孝子）において、そのマーケットインの発想で考えられたプロダクトコンセプトが評価され、欧州の販売代理契約も策定中。現在も、本プロジェクトで設計したブランドコンセプトを軸に、海外展開に向け事業が推進されています。